

令和4年度 群馬医療福祉大学公開講座一覧(全7回)

回	開催日時	講義題(会場)	講 師 名	講 義 概 要
1 ★	10月 11日(火) 18:00～20:00	18:00～18:30 開 講 式 (群馬医療福祉大学学長 鈴木 利定)		
		自分らしい『人生』を送ることを求めて ～共存共栄を目指した地域社会とは～ 前橋会場 生講義 藤岡会場 映像による講義	短期大学部 医療福祉学科学科長 社会福祉学部教授 足立 勤一	自分らしい『人生』を送るためには、共存共栄を目指した地域社会の構築が必要です。新型コロナウイルスの世界的蔓延による、「生きにくい」状況が続いている中で、世界中では様々な問題が起こり、多くの課題が見えてきました。第二次世界大戦を経験した日本の役割とはいったい何なのでしょう？障がい者の生きにくさも大きな課題の一つとなっています。昌賢学園の人財教育、建学の精神は「仁」の精神です。これを生かし、老若男女、健康者も障がい者も、共に生きる社会の構築はどうしていったら良いのか共に学びましょう。
2 ★	10月 18日(火) 18:30～20:00	運動の効果 ～記憶力、免疫との関係～ 前橋会場 生講義 藤岡会場 映像による講義	リハビリテーション学部教授 柴 ひとみ	骨は運動などの負荷をかけないと弱くなり、一方で、衝撃や負荷の大きい運動を行うと強くなる性質があります。近年、運動によって骨芽細胞から分泌されるオステオカルシンが話題となっています。オステオカルシンの役割や効果的な運動について紹介します。
3	10月 22日(土) 10:00～12:00	防災講座(1) 災害に強くなる 知恵と技シリーズ1 地図を使って自分が住んでいる「人を知る」、「災害を知る」、「地域を知る」 藤岡会場 生講義・実技	看護学部助教 中山 洋子	DIG (Disaster Imagination Game) を用いて、「地域を知る」、「人を知る」、「災害を知る」をねらいに、グループでシミュレーションに取り組みます。「DIG (Disaster Imagination Game)」は、災害想像力ゲームとも呼ばれる図上型訓練です。地図の上で、地域の自然条件や、道路、鉄道などの町の構造、防災上の資源などを整理することで、視覚的に地域の防災力を知ることができます。
4 ★	10月 25日(火) 18:30～20:00	雷様から 人体と機器を守る 前橋会場 生講義 藤岡会場 映像による講義	医療技術学部臨床工学専攻長教授 工学博士 木島 均	群馬県は全国的にも多雷地であり、雷電神社が多数あります。私はNTT研究所勤務時に、群馬県太田市に雷実験場を建設し、雷から人体と機器を守る研究をしていました。この経験から、落雷時に林、広場、自動車、飛行機搭乗時などにおける人体の安全性について解説させていただきます。次に、建物や、皆様の家の電気設備、情報通信設備などがどのように雷から守られているのかを解説させていただきます。
5	10月 29日(土) 10:00～12:00	防災講座(2) 災害に強くなる 知恵と技シリーズ2 避難対応訓練－机上シミュレーションを行い、避難所の立ち上げについて学ぶ。 藤岡会場 生講義・実技	看護学部助教 中山 洋子	被災者カードを活用し避難対応訓練－机上シミュレーションに取り組み、グループで意見交換を行いながら、災害対応について学びます。 想定される避難所の図をもとに、避難者の対応、物資、人員等について「ヒト」「モノ」「コト」の視点で整理することで、地域の防災力を高めることができると考えます。
群馬医療福祉大学・群馬医療福祉大学短期大学部後援会後援				
6	11月 5日(土) 13:00～14:30	昌賢祭・特別講演 挫折と失敗と苦闘の在宅介護十六年 －この道は果てしなくて－  前橋会場 生講義のみ	昌賢祭特別講師 民俗研究家 酒井 正保先生 (さかいまさやす)	異常言動・幻覚・妄想等の著しい認知症の妻の在宅介護に未経験で当たる。当初は相手の言動等に文句を浴びせる日々、主治医との出会いで「自己変容」相手中心の介護に。例 徘徊で捜せど発見出来ずパトカーで送致、警察官に礼を述べ同時に妻の両手を握り目を合わせ「大変だったね 心配してたんだよ」と声を掛ける、すると妻は体を寄せて来て言い知れぬ安堵の表情。「相手中心・一人で無いんだよ」を信条としての在宅介護をお聞き下さい。
7	11月 12日(土) 13:00～16:00	13:00～13:10 写 真 撮 影		
		令和の福祉心理支援 ～DVに悩む母子支援の現場から～ 前橋会場 生講義のみ	社会福祉学部助教 大久保 圭介	コロナ禍におけるステイホームは、家庭内暴力を外側から見えにくくし、発見や支援が遅れるなどの悪循環をもたらしたとも言われています。このことは、社会的立場が比較的弱いとされる女性や子ども達に、多くのしわ寄せがいききました。 そこで今回は、外出が難しい状況下だからこそ活用が進んだスマートフォンの「アプリ」や「ビデオ会議システム」等を活用した「オンライン・カウンセリング」において、私が実際に担当した「DVに悩む母子」への支援を通じて、令和時代の福祉心理支援の実際をお伝えしたいと思います。
		14:30～15:00 修了式 (群馬医療福祉大学学長 鈴木 利定) ※修了証を授与します。		

★印は、映像遠隔機器により映像をとばす講義